



躑

シツケ

物

ガタリ

語

成人向
FOR ADULT ONLY





黙ってないで
ちゃんと
説明してくれ

また僕を
監禁する
つもり
なのか?!



お…おい
どういう事だよ

何でまた
手錠を
つけるんだ!?



答える気が
ないのか!?

だったらまた
これを壊す…

…阿良々木君

あなた以前

羽川さんに
エツチな
お願いを
したそうね

な…何故
それをつ!

私はあなたの
事ならなんでも
知ってるのよ

何故って事は
ないでしょう

私初めてなの…

優しくしてね♡

というか
戦場ヶ原…

お前
もしかして
怒ってる?

狭くて暗い
空間に
羽川さんと
二人つきり

あら心外ね

どちらかと
言えば
喜んでいるのよ

いや…羽川
そんな事
言つてないん
ですけど…

私が男だったら
間違い無く
襲い掛かってくる
状況だわ

ほろろいわ



寧ろ貶してる
じゃねーか!!

全然喜んで
ないだろ!



あなたに
そんな度胸が
あるなんて
驚きだもの

結局何もしない
へタレっぷりも
驚きだけど



それは
さておき
阿良々木君

し…羨?

そのわりには
楽しそうだな

あなたには
思ふ必要だと

ええそうよ
相当悩んだの
だけけど

阿良々木君の
ために泣く
泣く泣く
決断したわ

羨望…



とにかく先
二度とそんな要求
できないように

阿良々木君の
身体に色々
教え込んで
あげるわ

いや…
ちよつと待つ…

そんなに
脅える事は
ないのよ

私以外を
愛せないように
するだけだから

あ…愛が重い…

どういう事かしら
阿良々木君？

これは
思ったより
重症だわ

うっ……く……っ

口では嫌だと
言っておきながら
こんなに腫らして
いるじゃない

あぐ……っ！

こんな事をされて
感じてしまう様な
変態なんだから

嬉しいなら
感謝の言葉を
述べなさい

お……おい
戦場ヶ原に
いい加減に
しろ……

うあ……っ！！

「シブいてもらって
幸せです」くらいは
言えるでしょう？

冗談にしては
度が過ぎてる……っ



私は冗談
なんかない
こと

冗談?

うう...

それはあなたも
よく知って
いるでしょう?

や...やめ...



そうそう
阿良々木君

一応言っ
ておくけれど

以前の様に
逃げ出そう
なんて
思わない
方がいい

に...逃げたら
どうなるって
言うんだ?



逃げ出そう
なんて
思わない
方がいい

一回言った!?

ムムムム!



ただで困ったわね…
あなたの我慢汁で
靴下が汚れて
しまうじゃない

臭いが染み付いて
二度と使い物に
ならないわね

あらあら大変！

面白いくらいに
溢れ出してくるわ



この代償は
高くつくわよ
阿良々木君

まずはこの
おちんちんから
賤けてあげるわ



駄目よ
我慢しなさい

勝手にイッたら
許さないから



う…せ…
戦場ヶ原…

やめ…射精するっ！







この締まりの無い
おちんちんは
きつめに舐けなきゃ
ダメみたいね

ねえ阿良々木君
射精したばかりは
凄く敏感なのよね？

ううっ…
な…何を…っ

その状態で
激しく擦ったら
どうなっちゃう
のかしら？

ば…馬鹿…
やめ…っ！

ああっ！！



ほらさっき
より固く
なってるじゃない

我慢せずに
射精しなさい



いっぱい溜まって
いるようだし

もう直ぐにでも
イけるでしょう？

ぎゅ

あぐ…っ！
ぎゅ



まだ一回しか
射精して
いないのよ

今からそれじゃ
先が思い
やられるわね

ぐあ…っ
にゅ



何をして
いるの？
さっさと
射精しなさい

私が射精せと
言った以上
もう射精す
しかないのよ

はあっ♡

あなたが
情け無い顔で
精液を
びゅくびゅく
出すところ

私がいっしょ
見せて
あげるわ♡

ああっ♡



こんな臭いを
嗅がされたら
気分が
悪くなるわ

大体こんな
射精しちゃって
恥ずかしいか
しらすか?



二回目なのに
凄い量ね

部屋中に
精液の臭いが
充満して
るわよ



答えな
いつもり
阿良々木君?

自分の都合が
悪くなると
黙ってしまうのね

まあそれなら
それで
構わないわ

寛大な心で
許してあげる

だけど...



もう少し
厭しく舐なきや
ならないわね



んげん!!

どうかしら
阿良々木君

あなたの汚い
おちんちんは
舐めるのは
嫌だけれど...

お口で
されると
より感じる
でしょうか?

舐ける為ですもの
我慢してあげるわ

はっ...♡



少しなさい
阿良々木君

あなたの
悲鳴が
耳障りだわ

な...何を...

誰の所為だと
思っ...っ!

で...射精るっ!!

ぬちゅっ♡

あーっ♡

あーっ♡

せくせく!!



いけない
もどかしさで
狂ってしまった
そうでしょう？

あーっ！あーっ！！

快感の波が
押し寄せて
きてるのに



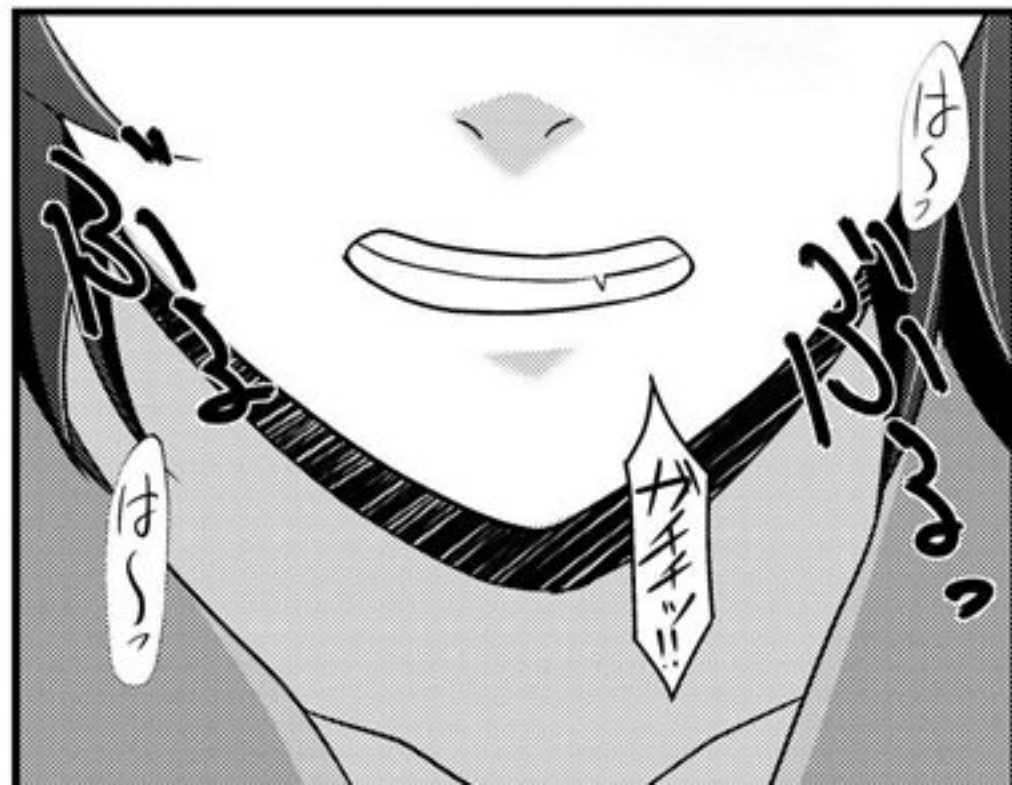
駄目よ！

まだイかせ
ないわ



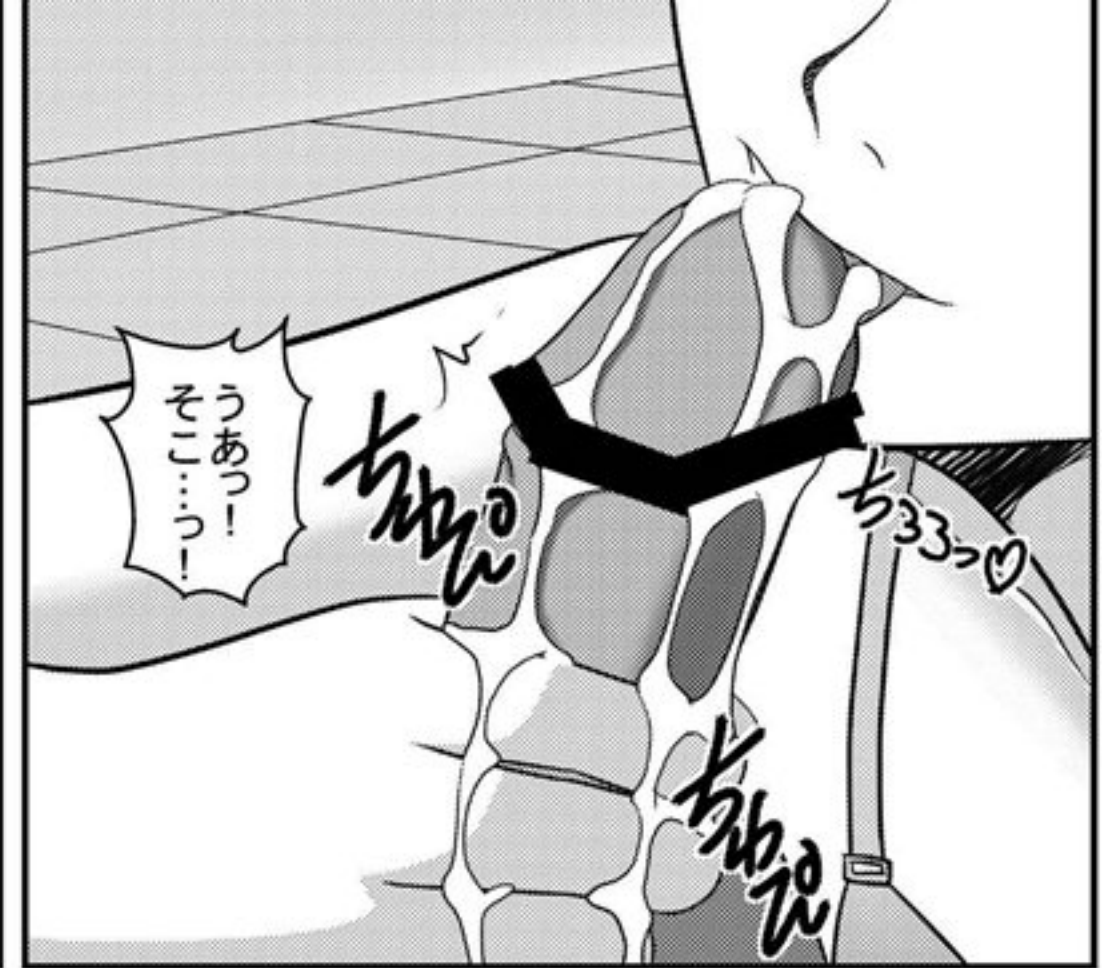
少しは
落ち着いた
かしら？

じゃあ続きを
始めるわね



あなたの
苦しんで
いる顔
を見ると
ソクソク
しちゃうわ

ずっと見ていても
飽きないくらいよ





言ったはずよ
阿良々木君

私は最初から
怒ってなんか
いないの



許す？
何を言ってるの？

いや…俺が
悪い事を
したから…

どうやら
まだ勘違い
しているのね



夜が明ける
まで時間は
十分にあるわ

その間に
自分の行いを
懺悔する事ね

まあ懺悔した
ところで救いは
無いのだから

結局のところ
の意味が無い
だけだけれど…



それに謝れば
私が止める
とも思ってたの？

阿良々木君が
考えそうな
狡い手よね



今日はもう
切り上げようと
思っていたけど
気が変わったわ

徹底的に
臍けてあげる



これが欲しかったの
でしよう?

しっかり
奉仕しなさい

顔に跨って
あげるから



見なさい
阿良々木君

あなたの
大好きな
モノよ

んんん!!



それくらい
阿良々木君でも
できるわよね

できないのなら
あなたは犬にも
劣る存在よ

ほらちゃんと
舌を動かして
私を気持ちよく
させなさい

んんん!!



犬の様に
ぺろぺろのよ
舐めるのよ

あなたに
ぴったりな
仕事だわ



こういう事だけは得意なのね...

あつ...そつ...つー！
ジンジン 来てるわっ！！

そう...そうよ いいわ

その調子よ 阿良々木君

その才能を少しは学業に回したらどうなの？

ぐわんぐわん♡



ふふ... いやらしい音 立ててるわね

ん...っ！ 駄目よ ゆつくり丁寧に舐めなさい



美味しいでしょう？ 阿良々木君？

私の愛液をしっかりと味わいなさい



ふああつ！！

あ...あつ...んはあつ！！







続けるわよ
阿良々木君

今度は
私の膣内
で
搾り取
つて
あげる

流石に最初の
元気は
ないけれど

この状態でも
十分にイける
わよね

ちゅっ♡

休む間なんて
与えられないから



いったばかりで
私の膣内に
入るのは辛い
でしょうね

でも大丈夫よ
直ぐに快感に
変わるから

あ……く……
うあ……っ！

ま……待って……

最もまた
イッてしまえば
その後は
地獄だけど……

あ……く……
うあ……っ！

ぬあ……♡



ほら…もつと
締め付けて
あげる

亀頭に
絡みついて
気持ちいい
でしょう？



大袈裟ね
阿良々木君
泣く程の事では
ないでしょう

私の膣内に
入れたことが
嬉しいの？



あ…あまり
手間をかけさせ
ないで頂戴

うあああ!!

かんつ…
かな…回数をや
こなさないん
だから…

さっさと
射精して
行くのよ…

射精し続ける
苦しみをも
味あわせて
あげるわ…

かんかん!!

にゅわちゅ

にゅわちゅ

にゅわちゅ

にゅわちゅ

いいわ…
阿良々木君
チャンス
をあげる…

おお!!

私をイカせる
事ができたら

おおおっ♡

これで終わりに
してあげても
いいわよ

少しは意地を
見せてみなさい

精液が
込み上げて
きてるわ

あ…また
大きく
なつたわよ♡

結果は
わかりきって
いるから

最初から
我慢するだけ
無駄でしょう
けどね…

も…やっ♡

三つねっ♡

早く私の膣内に
吐き出して
しまいなさい

おおおっ♡



ぐわんぐわん! You're crying!

ぐわんぐわん! (gwan-gwan!)

ぐわんぐわん! (gwan-gwan!)

ぐわんぐわん! (gwan-gwan!)

く (ku)

ぐわんぐわん! You're crying!



ぐわんぐわん! (gwan-gwan!)

ぐわんぐわん! (gwan-gwan!)

ぐわんぐわん! (gwan-gwan!)



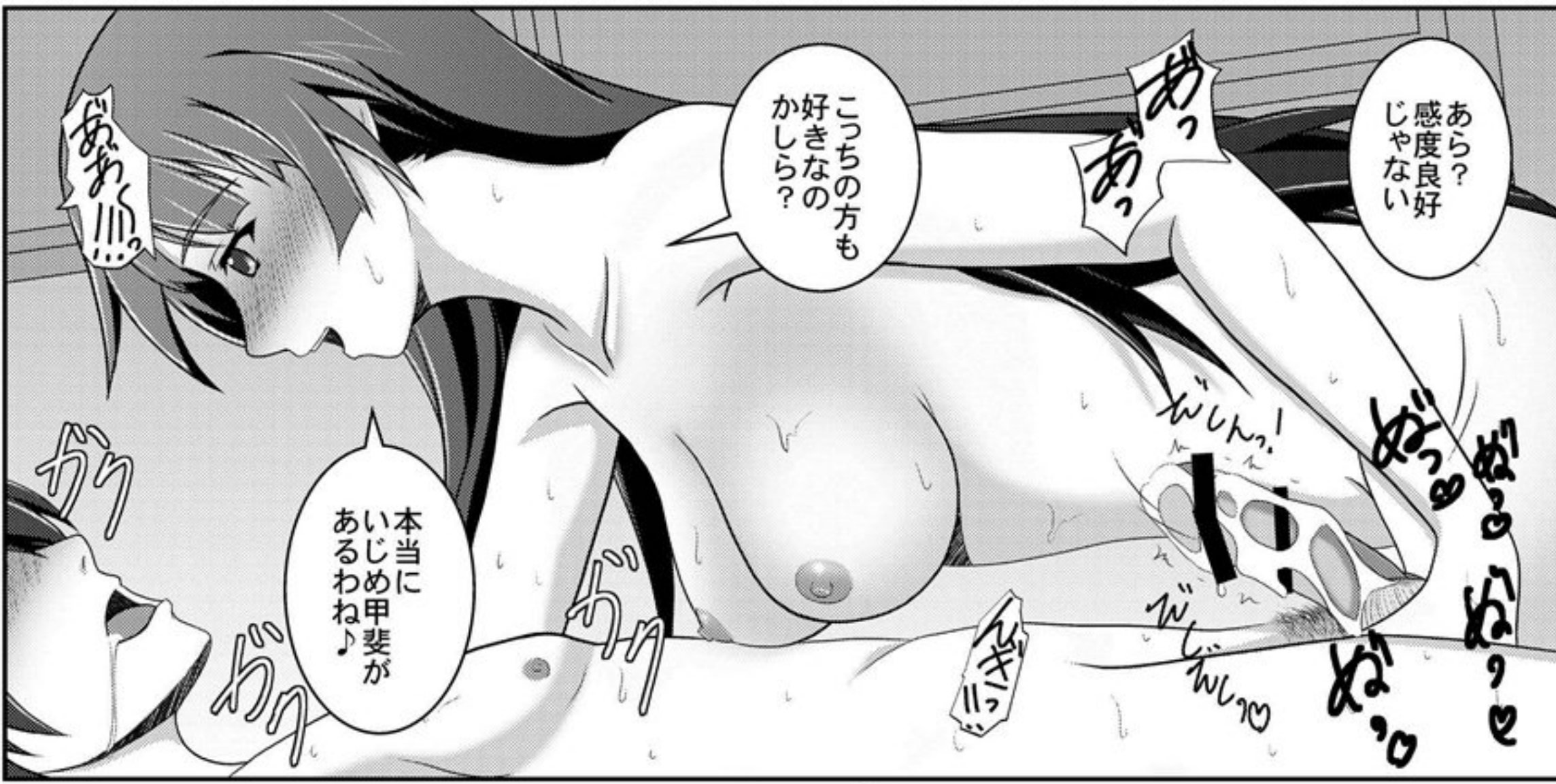
何の事かしら？

そんな約束
ないわね



や…約束
だぞ…

も…もう
終わりに…う



あら？
感度良好
じゃない

こっちの方も
好きなの
かしら？

本当に
あじめ甲斐が
あるわね♪

めいっ!!

めいっ!!



泣いても
喚いても
無駄よ

これからあなたは
射精し続ける
だけの人形になるの

それが私にした
事の報いよ
きちんと
反省しなさい♡



ほらもう
元気に
なつたわ

これでまた
イけるわね

めいっ!!

めいっ!!



阿良々木君…

少々不本意
だけれど

ここで一旦
終わりに
してあげる



私の声が
聴こえるか
しら？

空が白んで
きてるわよ

だけど少し
眠ったら

羨の続きよ

何時の間にか
こんなに時間が
経っていたのね

お休みなさい
阿良々木君

良い夢が見れ
ますように…







■あとかき■

初めまして、椎名鋼です。

「駄物語」をお手にって頂いて、ありがとうございました。
今回は、「鬨られる勇気」をテーマに創作させて頂きました。
責められ系は初めての試みでしたので、色々不安は絶えませんが、いかがでしたでしょうか？ 少しでも楽しんでいただければ幸いです。

……さて、次回は忍野忍本になると思います。

ご縁がありましたら、またお会いできればと思います。

それでは。

■ □奥付□ ■

■誌名■

騷物語

■発行日■

2012/4/30

■発行者■

2vs/椎名鯛

■印刷■



■連絡■

fwjh2008@mb.infoweb.ne.jp

■pixiv■

<http://www.pixiv.net/member.php?id=1637339>

■Circle.ms■

<http://c10014914.circle.ms/cr/CircleProfile.aspx>



■ 寝物語 ■
2vs 椎名鯛